

よこはま幻想

混声合唱組曲

作詞 武鹿 悦子

作曲 田頭 喜久彌

よこはま幻想に想いをよせて

田頭 喜久禰(でんどう きくや)

男声合唱組曲「よこはま」は、このたび若葉台混声合唱団からのご依頼で混声合唱組曲「よこはま幻想」に生まれ変わりました。

「よこはま」は1972年に「テトラ・エコー」の委嘱作品として発表された曲で、その後も幾つかの男声合唱団によって歌われて来ましたが、今回の改編により、また違った雰囲気曲になるのかと、私も楽しんで取り組みました。

今回、音を書き直すだけでなく表題も変えたのは詩を書いてくださった武鹿悦子さんのご意向がありました。当時、詩を書き下ろされるにあたり、横浜を広い角度から表現されたいお気持ちだったので、市内各所をご自分の足で確認されながら詩を書かれたと伺いました。それだけに40年近く経った今、激しく変貌する、横浜の街を目にするとき、この7篇の詩は、まさに幻想の次元に転移していると言えましょう。横浜市歌のモチーフではじまる「よこはま幻想」を、マリンタワーが最高の建物だった頃の「ヨコハマ」を想ってお聴きいただければ幸いです。



よこはまの町は



中街

宮灯の唄

横濱大飯店

the CAFE



石たたみ



坂道



ガス灯



街路樹

山下ふ頭

